



クラシックの名曲を奏でる演奏者たち

3/11 名曲に酔いしれる
狩野川クラシックコンサート

三月十一日、アクシスかつらぎ大ホールで、第五回狩野川クラシックコンサート2007を開催しました。今回の公演は、「ちょっと気軽にクラシック」というコンセプトのもと、静岡交響楽団とヴァイオリン奏者の沼田園子さん、フルート奏者の仲戸川智隆さんらによる華麗な演奏が繰り広げられました。

ステージは、子供から大人までだれもが気軽に音楽を鑑賞できるように、演奏楽器の解説も加えられ、楽しい公演となりました。

3/12 詰所完成
大仁方面隊第六分団

県道田原野函南停車場線の拡幅工事に伴い、移転工事が進められていた浮橋公民館と大仁方面隊第六分団詰所のうち、詰所部分が完成し、三月十二日に落成式を行いました。新詰所は、旧建物から約三十メートルほど西側に新築されました。

式典には消防団長をはじめとする消防団関係者や関係区長、地主や市議会議員らが出席して行われ、市長から諏訪消防団長に詰所伝達証書が交付されました。

今後は、地域の消防団活動を積極的に推進するため、有事の際の拠点として、また、地域住民の生命と財産を守る大きな存在として活用されます。



伝達証書を受ける諏訪消防団長(中央)



2/17・18 二日間で約一千人が梅を観賞
おおひと梅まつり

二月十七日、十八日の二日間、大仁神社境内を主会場に、おおひと梅まつりを開催しました。今年は暖冬の影響で例年より梅の開花が早く、まつり当日、梅林はちよつと見頃を迎えました。

まつりでは趣向を凝らしたさまざまな催しを行いました。神社境内では、雅楽や民謡などの披露のほか屋台も出店。会場周辺では梅お散歩ラリーなど、また梅林では、写生コンクール、恒例の甘酒サイビスなども行われました。

一時天候がくずれたものの、二日間で約一千人が梅林を訪れ、一足早い春の香りを満喫しました。

3/2 災害時における遺体収容などの協力を確認
葬祭業者二社と協定締結

三月二日、株式会社ジエイエイ・メモリアルセンター(伊豆市)と株式会社ベルホール年輪堂(中条)の二社と、大規模災害時の協力協定を締結しました。協定では、大規模災害が発生した場合の遺体収容や安置、これらに必要な資機材等の提供を行うことなどが確認されました。調印式は、JA伊豆の国本店で行われ、JA伊豆の国組合長と市長が協定書に署名しました。

静岡県の第三次地震被害想定によれば、東海地震が発生した場合、伊豆の国市では、百一人が亡くなるとされています。今回の協定締結により、発災後の迅速な対応が可能となりました。



協定書を取り交わしたJA伊豆の国杉山一義組合長(左)と市長

3/6 東海大会優勝! 7月、全国大会へ
バウンドテニス



ラケットを見せながら、バウンドテニスの説明をする伊賀さん(右)

名古屋市で開催された第2回東海ブロックバウンドテニス選手権大会ミドルの部(45歳以上)女子シングルで優勝した伊賀みどりさん(四日町)が、3月6日、市長を訪れ同大会の優勝と、全国大会出場を報告しました。伊賀さんは、今大会の決勝で、昨年決勝で敗れた選手と再び対戦。見事勝利を収め、雪辱を果たしました。過去最高位を上回ることを目標に「チャンスを生かして頑張りたい」と7月に行われる全国大会に向けての意気込みを語りました。

3月3日、あやめ会館で、第2回歯周病予防講演会を行いました。約60人が集まり、歯科衛生士の杉山総子さんによる講演や市歯周病予防対策委員会会長の青崎美代子さんによるアンケート結果報告を熱心に聞き入りました。

講演では、食べる機能の回復と専門的な口腔ケアは、全身の健康維持につながることを伝えられ、実例を上げたビデオ上映や口の体操なども紹介されました。また、市内80歳の人を対象とした残存歯数調査では、保持歯数が約13本で、全国平均9本に比べ、高い結果であることが報告されました。

3/3 80歳の残存歯数が全国平均上回る
第2回歯周病予防講演会



参加者から「口腔ケアの具体的な方法がわかった」「口の体操を実践してみたい」との声が寄せられました。

3/11 今昔の災害を比較

伊豆の国市の災害史

三月十一日、あやめ会館で、橋本敬之氏(市文化財保護審議委員)を講師に招き、文化財講座「伊豆の国市と狩野川の災害」を実施しました。

会場には約二十人が集まり、江戸時代の水害では、現代の災害に比べ被害が広い範囲に及んでいても、死者が発生することがまれであったことや、江戸時代の治水に対する考え方が現代とまったく違うことなどを学びました。



講演に聞き入る参加者たち

2/27 高齢者叙勲を授与

葦山多田、小島さん

小島一三さん(葦山多田)は、三十二年の長きにわたり、葦山町議会議員を、また二期六年にわたり葦山町農業委員会委員をつとめ、地方自治の振興に貢献された功績をたたえ、二月一日付けで、天皇から高齢者叙勲を授与されました。

二月二十七日に県庁で伝達式が行われ、県知事から賞状、勲章等が伝達されました。

小島さんは「皆さんのご支援のおかげと心から感謝しています。これからも健康管理に努めていきたいです」と受賞の喜びを語りました。



県知事から賞状を受け取る小島さん(左)